

みつなり通信



衆議院本会議で質問(5/15)

岡本三成
Mitsunari OKAMOTO



【平和安全法制について】

現在、衆議院で「平和安全法制」が議論されています。これは、「国民の命とくらしを守ることが、ただ一点の目的(5/28安倍首相答弁)」です。また、別の言い方をすれば、「戦争を未然に回避するための法律」です。

この法案の提出に至るまでには、政府・自民党・公明党で、慎重かつ丁寧な論議を25回行いました。また公明党内では、数え切れないほどの会合を持ち、議論を重ねてまいりました。その結果、公明党の主張を、しっかりと法案に反映させ、明確な歯止めをかけることができました。

例えば、今回の法整備で「国際平和支援法(国際社会の平和と安全のために活動する外国軍隊への協力支援活動を実施)」が新たにつくられました。この新法では、自衛隊を海外に派遣する際の三原則として、(1)国連決議の存在、(2)例外なき国会の事前決議、(3)自衛隊員の安全確保、が公明党の主張によって盛り込まれました。

こうした協議のプロセスにおいて公明党が果たした役割は、「憲法の理念を堅持したのは公明党だ」(渡部恒雄氏・東京財団上席研究員)など、有識者に高く評価されています。

平和安全法制は、「転ばぬ先の杖」であり、本来起きて欲しくない事態が万が一起きた時に、国民を守るためのものです。しかし、より重要なことは、そうした事態が起きないように、国のリーダーが普段から諸外国と対話の努力をする、つまり人間外交を尽くすことです。

私も、平和の党・公明党の議員として、これまでの経験と人間関係をフルに活用して、全世界に友情の輪を拡げてまいります。それこそが、国会議員の使命だと決意しています。そして、仮にどのような大きな問題が起こったとしても、話し合いで平和的に解決できるネットワークを、世界に拡大してまいります。

岡本三成

【岡本三成プロフィール】

衆議院比例区
北関東ブロック
当選2回(2014年12月)



1965年 5月5日生まれ
1984年 佐賀県立鳥栖高校卒業
1988年 英国グラスゴー大学留学
1989年 創価大学卒業
1989年 シティバンク勤務
1998年 米国ケロッグ経営大学院修了
経営学修士号(MBA)取得
1998年 ゴールドマン・サックス証券勤務
2005年 同社 執行役員
2012年 衆議院議員に初当選
現在 所属: 予算委員会、外務委員会、
財務金融委員会
公明党 国際局次長
外交安保副部長
財政金融副部長
出身 佐賀県鳥栖市(埼玉県所沢市在住)
家族 妻と二女

発行元

公明党 衆議院議員 岡本三成事務所

【国会事務所】

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1005号室
TEL:03-3508-7147 FAX:03-3508-3637
Email :office@m-okamoto.jp

【所沢事務所】

〒359-0046 埼玉県所沢市北所沢町2268-2
リラリエール201号室

【Facebook】衆議院議員岡本三成事務所

<https://www.facebook.com/okamoto.office>

【ホームページ】<http://www.m-okamoto.jp>

【メールマガジン】

ご登録 <http://nippon-saiken.jp>

こちらのQRコードからもご登録いただけます▶



国際会議出席inアメリカ&カタール

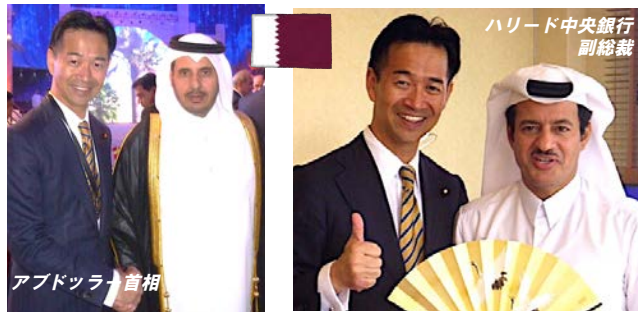


5月4～7日は、党務で米・ロサンゼルスへ出張。国際的な人権擁護団体であるサイモン・ウイゼンタール・センター(SWC)にて、「平和と民主主義の文化を創出する為に」と題しての、パネル・ディスカッションに参加しました。

国連事務次官、中東の外務大臣、米国大企業の社長などと、それぞれの立場で、平和構築へ向けて取り組むべき活動について議論しました。

その後、SWCのクーパー副所長と懇談。副所長とは、これまでも何回か懇談させて頂いています。核廃絶や、難民支援などに対する公明党の姿勢を私の哲学をお伝えしました。

また、滞在中に、ロサンゼルスの中・華僑団体のセミナーにも出席しました。スピーチの機会をいただきましたので、日本と中国の健全で友好的な隣国関係こそ、アジア地域の和平に大きな役割を果たす、とお話をしたところ、多くの方から賛同を頂きました。



🎂 50歳になりました 🎂

政治家として、自分らしく楽観主義で、毎日を全力で生きて参ります！そして、真心で支援して下さいる皆さんに、「岡本を応援して良かった。」と言って頂けるような政治家に成長して参ります！！

5月11日から13日まで、中東のカタールで開催された第15回「ドーハ・フォーラム」に参加しました。同フォーラムは、カタール政府が、米国・カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)と共同で行う国際会議で、世界的な課題について、各国の政治家や学者、経営者、国連幹部らが議論する場です。

カタールは、石油と天然ガスが豊富で、その多くを日本が輸入しています。東日本大震災の時は、年間総輸出量の6割に当たる400万トンの天然ガスを緊急支援してくれたほか、「カタール・フレンド基金」から被災地復興のために約83億円を拠出してくれるなど、親日国でもあります。

「ドーハ・フォーラム」で私は、日本の経済政策、エネルギー政策、格差問題、そして難民支援を含む「人間の安全保障」について講演しました。また、パネル・ディスカッションにも参加し、率直な意見交換を行いました。文字通り「世界のリーダー」が集まる場で、日本の政治における公明党の役割にも言及し、人間主義に基づく、日本再建に向けた戦略と国際社会への貢献について決意を述べました。

一方、会場では、カタールのアブドラ首相と懇談する機会にも恵まれました。首相が「カタールから日本への留学生を増やしたい」と語ってくれるなど、両国のさらなる関係強化に向けて教育交流を促進する認識で一致しました。

アブドラ首相の勧めで、カタール政府が運営する教育機関「カタール・アカデミー」を訪問しました。東京ドーム約12個分の広大な敷地に、私の母校であるノース・ウェスタン大学のほか、米国のトップクラスの大学が誘致され、世界各国からの留学生に最高水準の教育を提供しています。懇談した、アルハンジ副学長の「国の宝である青年に、十分な教育の機会を提供することこそが、豊かな未来への道を開く」との信念に、深い感銘を受けました。

このほか、中央銀行副総裁や、各国の総経理経験者、外務大臣などとも語り合うことができました。

外交でも、大切なのは誠実な対話の積み重ねと、その信頼の上に築かれる一対一の友好です。今後も、世界の平和をめざす公明党の議員として、国際社会の課題を話し合いで解決するための平和外交に徹する決意です。

総括！通常国会前半の論戦

1月26日に招集された、第189通常国会。平成26年度補正予算・平成27年度予算の審議をはじめとする、重要な審議が行われました。

私は予算・外務・財務金融委員として、合計7回の質疑に立ちました。特に、予算委員会の集中審議では、ふるさと創生や中小企業対策、奨学金問題などの質疑を行い、全国からも賞賛の声をいただきました。

また、5月15日には本会議で公明党を代表し、安倍総理の訪米報告に対する質問を行いました。後半国会では安保法制等の重要法案の審議で与野党の論戦が行われる見通しです。

月日	委員会	内容
2/4	予算・集中審議	商品券・奨学金・難民問題
3/4	予算・地方公聴会	公述人への質問
3/9	予算・中央公聴会	公述人への質問
3/10	予算・第五分科会	群馬大学病院医療事故問題
4/24	外務委員会	積極的平和主義・難民問題
5/15	本会議	総理訪米報告に対して
5/22	外務委員会	アジア開発銀行・日韓外交



本会議



予算・集中審議

所沢市・滝の城祭りに参加

5月17日に、所沢市の滝の城址公園で開催された「戦国・滝の城祭り」に、西田参議院議員とともに参加しました。

たくさんの市民の皆様にお目にかかり、元気を頂きました！

